



# 北浦っ子

令和3年度学校だより3月号  
3月25日発行  
延岡市立北浦小学校 No19  
文責：校長 甲 斐 憲 一

## 素晴らしい卒業式

昨日19名の六年生が学び舎から巣立っていきました。コロナ禍のため、来賓の方々の出席や下級生の呼びかけや歌などが叶いませんでしたが、厳かな雰囲気の中で、六年生が凜とした態度で一人一人卒業証書を受け取る姿は大変素晴らしかったです。一人一人の壇上での決意も堂々として気持ちがしっかりと伝わりました。さすが最高学年という姿を4・5年の後輩にしっかりと見せてくれました。

式辞では私から二つの心について話をしました。一つ目の心が「挑戦する心」、二つ目の心が「感謝する心」です。どちらの心もこれからの人生においてとても大切な物です。六年生はしっかりと集中して話を聞いてくれましたので、これからの成長が楽しみです。

また、お礼の言葉で六年生の代表として松田優心くんがこれまでのことを振り返り、心温まる言葉を述べました。胸が熱くなるすばらしいお礼の言葉でした。六年生の成長を改めて感じた瞬間でした。

これから中学校という難しい時期を迎えますが、自分の目標をしっかりともち、日々努力を惜しまず、頑張ってほしいと思います。先生たちはいつまでも六年生を応援していますし、いつでも北浦小学校に遊びに来てほしいです。

**祝 卒業おめでとう！**



## 修了式

修了式が行われました。修了式はその年度の最後の日に行われ、児童一人一人の頑張りを振り返る日でもあります。

5人の児童代表（5年：吉田瑠育くん、4年：中口優くん、3年：高須佳乃さん、2年：波越幸之介くん、1年：波越芽咲さん）が壇上で修了書を受け取りました。そのあとには、2人の代表児童が1年間を振り返っての作文を発表しました。

3年生の吉田望美さんは、1年間を振り返って、算数や鉄棒、友達への態度についてのがんばりを発表し、4年生でもしっかり頑張り、新しいことにチャレンジしたいと決意を述べました。

5年生の水木来海さんは、5年生の思い出に残る運動会やむかばき宿泊学習でのがんばりについて発表し、チームワークの大切さに気づくとともに、来年度は手本となる頼りがいのある6年生になりたいと決意を述べました。2人ともはっきりとした声で堂々と発表し、その姿はみんなの手本となりました。たいへんすばらしかったです。

全校児童みんなが、しっかりと目標をもち、次の学年でもその達成に向けて努力してほしいので、今後も目標の大切さ、継続して努力することの大切さをしっかりと伝えていきたいと思えます。

また、春休みは、次の学年の準備という話をしましたので、学用品で必要なものの準備や無くなった物の補充、そして今の学年の復習も休み中に行ってほしいと思えます。特に準備する物は自分で購入させて自覚を促してほしいと思えます。もちろん名前なども自分で書かせてください。どうぞよろしくお願いいたします。



【1年生代表の芽咲さん】



【5人の代表】



【作文の代表】

## 令和3年度ご支援・ご協力ありがとうございました

気が付けばあっという間に1年間が過ぎてしまいました。1年間保護者の皆様には学校へのご理解・ご支援をいただきまして、本当にありがとうございました。心より感謝いたします。今年度もコロナ禍により、なかなか行事などができない状況にあり、コロナ禍以前の関わりが不足している感がありますが、試行錯誤しながら、できることを考え工夫してきた1年間でした。今後もこの状況が改善するかは分かりませんが、みんなの気持ちを一つにして来年度も頑張っていきたいと思えます。引き続き、ご支援ご協力をお願いいたします。1年間本当にありがとうございました。